

# 貨物削減・乗務員運用合理化の一切を白紙撤回せよ

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎!

## 55・10ダイヤ改悪阻止に守、動労千葉申11号を申し入れる。

動労千葉は、八月八日、九日の両日、今年度交渉部長会議を開催し、今次55・10ダイヤ改悪・乗務員運用合理化に対し、反合の基本的原則にふまえ、職場生産点の叩きを背景に、合理化絶対反対の方針の下、交渉強化をはかることもに、各支部現場からの要求事項の全体集約を行った。

八月十三日、本部抗争委員会は、この交渉部長会議における種々の討議内容、具体的取組みの確認にもとづき、国鉄当局に対し、55・10時刻改正計画そのものの白紙撤回を中心とする動労千葉申十一号(八月十三日付)をもって基本申入れを行った。

### 基本要項11項目、全体で105項目の要求

「動労千葉申十一号」は、要員削減を意図する貨物削減、乗務員運用合理化の一切を白紙撤回することなど、別記する基本要項11項目、加えて各支部・分科からの要求事項を集約し、要員関係は項目、業務関係は項目、設備関係は項目、運転保安は項目、車両・運用関係は項目、調度その他で10項目にわけ、全体で105項目に及び細部要求である。

本部交渉部は、この申入事項にもとづき、才一回交渉を八月十八日(本日)行うこととし、以降、節々をとらえた闘争体制を構築すると共に、粘り強い交渉をもって国鉄当局を追いこむこととした。

### 申十一号「申入書」(五〇・八三)

55・10時刻改正計画に伴う組合要求を下記の通り申入れるので団体交渉により速やかに解決されたい。

△基本要項△

- (1) 貨物列車削減、乗務能率向上など合理化計画の一切を白紙撤回すること。
- (2) ヤード作業の変更による入換機削減および乗務員作業の変更計画を中止すること。
- (3) 各区の乗務員運用については組合要求にもとづき対処すること。
- (4) 総武15両化に伴う労働条件は組合要求にもとづき対処すること。
- (5) 運転関係取場への新規採用者を大巾に

確保すること。  
(6) 運転関係取場の将来展望及び需給計画を明確にすること。

(7) 千葉局の車両基地及び車両配置の将来計画について明らかにすること。

(8) 貨物関係基地の将来展望を明確にすること。  
(9) 乗務員の高令者対策についての抜本的施策を明らかにすること。

(10) 検修・構内・事務関係取の養成体系を確立すること。

(11) 内房線の線路改善を早急に実施すること共に、列車運転時分の見直しと、適正な停車時分を確保すること。 △以下、細部要項については略△

### 「55・10不戦屈服」の本部「反動分子」の裏切り路線を粉碎し、全取場からの叩きを、

千葉局における「55・10ダイヤ改」は、才一に横須賀15両スルー運転という業場的要素、才二に、全く根柢のない列車削減を行い、他区との運用持替えをもって、運用合理化を強行せんとする貨物合理化という極めて問題の多いものである。

55・10ダイヤ改は、「35万人体制」の初年度として大量の要員削減を目的にしていると同時に、この攻撃を通して労働組合の闘争力を骨抜きにし、「再建」合理化に協力する労働組合づくりを積極的に行い、労資協調をもちこみからの施策を推し進めんとする抜本的な攻撃である。ところが、国労中央および動労本部「反動分子」は、この攻撃の本質を意図的にあしからし、「55・10は大した攻撃ではない」と全く犯罪的なパテンの宣伝をくり返し、全国大会方針に於ても「貨物合理化容認」「55・10不戦屈服」「乗務員運用合理化積極推進」の方向をうち出すという完全な裏切り路線をうち出している。「本部」反動分子を二掃し、「55・10」を叩きぬこう。